

## は し が き

近年、本県でも、団塊の世代が後期高齢者となることで生じる様々な問題、いわゆる「2025年問題」に対する取組が進められていますが、町村部では、既に後期高齢者が増加のピークを迎え、2025年にかけて減少する見込みの団体もあります。

当然ではありますが、人口減少や少子高齢化の状況は、市町村によって異なることから、それに伴い生じている課題にも地域性があり、多様で、複雑なものとなっています。

こうした中、住民にもっとも身近な基礎自治体である市町村が果たすべき役割は重要度を増しており、市町村においては、地域課題の解決と地域の活性化に向けて、行政サービスを将来にわたり安定的に提供し続けるための行財政基盤の確立や、多様な主体との様々な行政分野における連携体制の構築が求められています。

本書では、その一助となるよう、県内40市町村における行財政にかかわる基本的事項を分野別に取りまとめ、県内の状況を把握することができるように編集しています。各市町村におかれては、効率的かつ効果的な行政運営を確保するとともに、活力ある魅力的な地域づくりを推進していくための参考資料として御活用いただければ幸いと存じます。

最後に、本書の刊行に当たり御協力いただきました各市町村及び関係各位に対し、心より厚くお礼申し上げます。

平成30年6月

青森県総務部市町村課長 米田圭吾

この要覧は、総務部市町村課及び県選挙管理委員会が所掌する事務について、市町村の行財政全般にわたる年度中の実績の概要を取りまとめたものです。